広報 第107号

おおあらい

発行　昭和55年11月1日
発行所　大洗町役場
〒311-13 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275
☎大洗(7)5111(代)
編集　広報公聴室
印刷　富士オフセット印刷㈱
☎水戸(31)4241

（題字：楊 湖舟先生書）

みんなで走り　みんなで競い　みんなで笑い楽しんだ

大洗町25周年記念町民運動会

秋晴れの下 老いも若きも 一日を心ゆくまで楽しむ

老若男女を問わず、町民の皆さん一人ひとりが待ちにまった、大洗町誕生25周年記念の町民運動会が去る10月26日の日曜日に、役場下海岸の広場で盛大に開催されました。

当初の開催予定日19日が天候不良のため実施不可能となり、止むなく一週間の順延をした甲斐あって、この日は早朝から雲一つない晴天に恵まれました。

午前9時、コバルトが天空を貫く秋空に、ひとすじふたすじ打上花火の白煙が景気良い大きな音と一緒にたなびくと、会場では出場者、関係者全員が整列する中で、国旗・町旗の掲揚にはじまるセレモニーが行なわれ、竹内宏大会会長から、すがすがしく澄みきった今日の日に大洗町誕生25周年の記念町民運動会を迎え開催できる喜びと、日常の明るい生活の基礎となる健康づくりに、日頃、町民の皆さん一人ひとりが充分に留意され、今日ここに会し得た大きな喜びの挨拶のあと、地元選出の小幡五朗県議会議員、深作重雄町議会議長から祝詞が述べられ、つづく所定の行事もテキパキと進行し、参会者全員によるラジオ体操で式を閉じ、いよいよ競技の開始に移りました。

競技は小学生の「紅白玉入れ」を皮切りに、5才の幼児が参加する「おかあさんといっしょに」、高年者クラブの「玉入れ」「玉手箱拾い」、中学・高校生による「バーゲンセール」、一般参加の「二人三脚」や「地区対抗綱引」、子供会、消防各分団、職場・団体等の「対抗リレー」など、文字どおり町民総参加による競技が午後にわたって繰りひろげられました。その間、昼食事にはアトラクションとして、「磯節おどり」（磯節保存会・各婦人団体・一般有志）、「消防模範操法」（第7分団）、「荒磯太鼓」（大洗荒磯太鼓保存会）と、熱のこもった演技が披露され参会者の大きな担手を浴びました。楽しい時間というものはその経過も早いもので、いよいよフィナーレを迎えると、特別出演で、消防纏の演技を先頭に、金色燦然と輝く鳳凰を頭上高く掲げた大神輿（大洗神輿荒磯会）が入場し、150名の会員によりセイヤ／／と粋で勇壮な演技が披露され場内を一周、つづく仮装コンテストでは出演者も観客も一体となって、各所で笑いや歓声がうずまき、もりに盛り上った会場の雰囲気も最高潮に達っし、過ぎ行く秋の一日を心ゆくまで楽しみました。

（とじて保存しましょう）

歳時記

立冬

「おはようございます。十一月七日、今日は立冬。こよみの上では、今日からいよいよ冬にはいります……」などと、ラジオやテレビから、季節の変わり目を告げるアナウンサーの声が聞かれます。

立冬は昔から伝わる暦の上での季節の区分点で、現代の生活にはあまり関係はないようですが、最近は、テレビ、ラジオの朝のあいさつや、新聞の季節の話題などによく使われるので、ひところよりかえって親しまれてきています。

立冬は毎年十一月の七日か八日ごろで、この日から立春の前日すなわち節分までが暦の上では冬です。ただ、実際には、立冬のころは木枯しが多少吹いても、その合間には風のないあたたかい小春日和が続いたりして、まだ冬の実感はありりありません。このあと、暦の上では、小雪、大雪、そして十二月下旬の冬至と続いて本格的な寒さに向かい、冬至にはカボチャを食べて中風の防止を願ったり、これから日照時間がふえるという意味のお祝いをする地方もあります。立冬については、昔中国で、天子が諸侯をひきつれて北の郊外へ冬を迎えにいったという話が残っています。

それにしても立冬は、北日本ではもうストーブの季節。

省エネルギーに留意するとともに、火災にはくれぐれも気をつけましょう。

おめでとうございます
健康家庭表彰される

「健康第一」と町国民健康保険では、去る10月17日、健康優良家庭127名の方々に、表彰を行ないました。

これは、昨年（昭和54年度）一年間家族全員健康にすごされ、一回もお医者さんにかからず、また国保税も納期内に完納されたご家庭に、表彰状と記念品を贈って、一家の健康をたたえたものです。

受賞者は次の通りです。

（敬称略　○印は二年連続健康家庭）

明神町
吉川栄一、大川昌一、坂場光男
黒田　正、大木とし子、○川上フミ子、○橋本とみ、関根治文

二丁目
栗毛吉五郎、○関根あや子、関根マツ、○桧山征佑、阿内文雄
関根謙一

仲町
○鬼沢芳明、○久　六之助、○小林きく、小野瀬ハナ子、寛三郎

金沢町
黒沢康子、倉本政樹、○大川なを、関根　弘

通り町
○今瀬巻子

新町
畑中栄子、○窪田裕一、遅塚清
島田幸蔵、村山守治、佐藤和子
遅塚秋男、桜井康晴、今井堅也

松ケ丘
大川成夫、竹島堅蔵、滝沢清一
○野口綾子

祝町
○岩下喜久一、小杉次男、○村田あさ、鈴木てい、渡辺うら、白土キヌ、○阿部清吉、田中幸次郎

永町
○佐々木貞子、篠原みよ、大島進、鈴木初一、菊池多満、関根友次、○塚本輝子、大足静江、鴨志田雅弘、山崎多加江、菊地昭夫、田崎藤、野口裕子、○樋森義人、○秋山宗夫、寺門　章有田一郎、○宮崎弘、○上出秋男、○田山武夫

髭釜
鈴木秀夫、○田山勝夫、○小松崎千代吉、大越シモ、○椿千代松、○飯島伸、○坂場かね
○綿引よし、○戸田春江、○菊池三郎、小野瀬末治

寺釜
○関口久子、深谷ふじ江、小沼峰雄、○小倉達、○川上仙次郎
○大熊千代、渡辺藤子、○関根つる、江橋一郎、○渡辺みつ、
○小松崎照二、佐藤みよ子、
島田みさを

舟渡
○関根マチ、丸山金蔵、小野瀬
昭平、吉田光男、○田山綱男

蔵前
宇野イツ子、田山なを、市毛ちよ、田山つや、○緑川清治

上宿
○市毛とみ、○福沢直美
○高梨千代子

中宿
○石田ちよ、関根正勝

北清水
○稲野辺美代

南清水
脇　きん、渡辺喜一、
○荻沼松寿

角一
海老沢洋一、柳田雄作、○加藤邦行、江橋輝行、米川忠男、
小沼末男、小野瀬よね

神山
○井上　脩、鬼沢弘毅

荒谷
高須　源

上宿
米川　末

中宿
○江橋四郎、小野瀬くら

松川報国
○米川信雄

松川第一
米川　操

松川中部
佐藤　智

大谷川
○石崎きん、岡野　均

寄附

一、金　参百六拾八萬参千円也
大洗町磯浜町字東六三三―一〇
大洗町漁業協同組合
組合長　小松崎七之介殿
標記金額を福祉事業推進の一部に使用して頂きたいと、町に寄附されました。

一、金　壱百萬円也
大洗町大貫町六四―三一
田山勇之助殿
標記金額を大洗町奨学資金の一部として使用して頂きたいと、町に寄附されました。

食器洗浄機　一台
（五拾五萬円　相当）
水戸市住吉町二〇四―六
東邦厨房株式会社
代表取締役　大滝利夫殿
右記物品を大洗町立第一中学校備品として使用して頂きたいと、町に寄附されました。

心でつなごうボランティア
住民参加による福祉の推進を

大洗町社会福祉協議会においては、地域福祉の向上のため、組織強化（法人組織化）と、住民の直接参加による福祉充実を推進しております。

とくに、ボランティア活動は、地域の皆さん（住民）が直接福祉に参加することにより、福祉に対する、理解と関心が深まり、福祉は、地域連帯感の強化によって、さらにその効率が高くなります。

ボランティアは、自分達の社会、を少しでも住みよいものにするため、自らも努力しようという心を持った人たちの実践活動であり、「心のふれ合い」を求める活動です。

こうしたことから、大洗町社会福祉協議会においては、ボランティア活動の育成を事業の一つとしてとりあげ、その推進を図っております。

現在ボランティア活動を行なっている個人や団体の方々、今後ボランティア活動を希望する個人や団体の方々は、大洗町社会福祉協議会事務局（大洗町役場内電話七―五一一一内線六三）へお申出をお願いいたします。ボランティア活動を進めるための、お手伝をいたします。

より多くの方々が、ボランティア活動に、参加されるようおまちいたしております。

現在、町社会福祉協議会と協力して、活動している、次のような若い人たちのボランティア団体もありますので、活動例として紹介いたします。

○団体名　明和会
○所　在　大洗町磯浜町
七七四番地
○代表者　中野谷　千尋
○会員数　一〇名
○活動内容
毎月定期的に、海岸清掃等の、環境美化活動を実施し、清掃によって回収した、物品のなかから、再利用出来るものを売却し、その益金を町社会福祉協議会善意銀行へ寄附したり、身体障害者スポーツ大会の際に出場する、身体障害者の介護にあたったりして、福祉活動に参加している人達のボランティア団体です。

税だより
国民健康保険税第四期の納期は（12月1日迄）です。

納税いろはかるた　⑤

(こ) 今年から　税を納めて
おとな入り

(え) えびす顔　申告すませた
お父さん

(て) 低額な　税にも
汗がにじんでる

(あ) 赤ちゃんの　未来のために
パパ納税

(さ) さあ　今日も
完納目ざして農作業

(き) 来た通知　納付日
記す　カレンダー

(ゆ) ゆとりある　市民のくらし
納税から

(め) めざましい　発展の
影に　税があり

善意の寄附ありがとうございます

町社会福祉協議会善意銀行に九月十日以降次のとおり多額の寄付がよせられました。寄付をよせていただいた方の「まごころ」と寄付のご趣旨を有効に生かし社会福祉の向上のため活用させていただきます。

寄付をよせられた方々

○大洗町大貫町五五二番地の五
大貫海岸売店組合長
清水　忠勝　殿
五〇、〇〇〇円

○大洗町大貫町五五二番地の五
喫茶店野火社長
清水　忠勝　殿
二三、九三二円

海岸売店組合よりの寄付については、老人福祉のために役立てて欲しいと云う趣旨で贈られたものであります。

野火よりの寄付は、同店が開店以来店頭に、「善意の貯金箱」を置いて、よせられた善意のお金を贈られたものであります。

町社会福祉協議会善意銀行においては、今後も皆様方のあたたかい善意を活用させていただき、恵まれない人々の福祉の向上に努力して行く考えでありますので町民の皆様方の御協力をお願い致します。

国保だより
「医療費の節約」を考えたことがありますか？

①深夜、休日、時間外受診をさける

深夜、休日、時間外に受診すると次のような大幅の割増料金がかかります。

1時間外受診（病院、診療所に掲げられている診療時間外の受診）
初診で六〇〇円、再診で五〇〇円
2休日受診
初診で一八〇〇円、再診で一五〇〇円
3深夜受診（夜の一〇時から翌朝六時まで）
初診、再診とも三、六〇〇円
こんな時間に電話でお医者さんの意見をきいても割増料金をとられます。

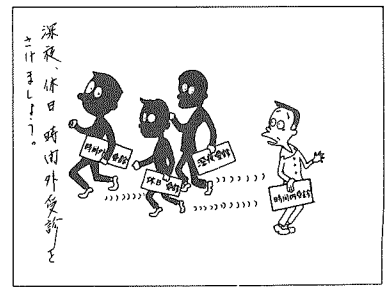
こういう受診はお医者さんも迷惑。費用も多くかかります。なるべく、こんな時間は避けましょう。

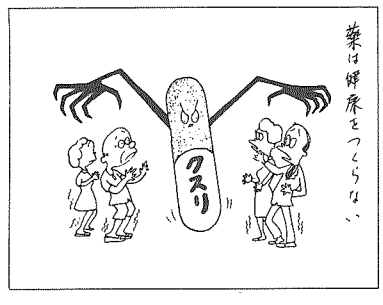
②薬は健康をつくらない

病気になる、薬をのむ、それで健康が回復する、と多くの人は思いがちです。しかし病気を治すのは人間の体力―自然治癒力が最も重要なのです。大部分の内科的病気は人間の生まれながらに持っている自然治癒力によって治るものなのです。薬が病気を治すのだと早合点しないで、お医者さんの養生指示を守ることが一番大切です。

ふだんから体力を充実させ、少少の病気などはね返す健康な体をつくっておきましょう。それが病気になっても早く回復するもっとも基本的な考え方です。そのためには、毎日の生活の中で、バランスのとれた栄養、適度の運動と鍛練、充分な睡眠と休養を心がけることが大切です。

○気をつけよう無駄な医療費みんなの負担
○国保で守るみんなの健康





国保税はちゃんと納めていますか？

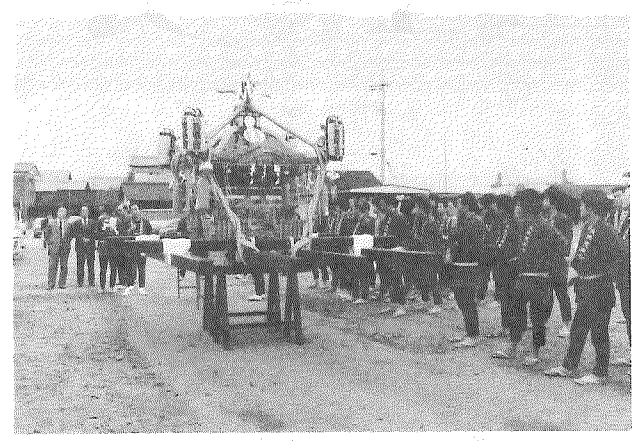
1国保税は国保の大切な財源です。

国保はみんなが出し合ったお金（国保税）で賄われています。今大洗町の国保は火の車、みなさんが使う医療費は国保税だけでは足りず、国や町の補助を加えてやっと支払われている状態です。あなたの支払う国保税がなければ大洗町の国保は運営して行けません。必ず納期内に納めましょう。

○国保税健康家族の安心料
○一般（錠）の薬も尊いみんなの国保税

新調なった大神輿

町に新名物また一つ加わる



大洗神輿荒磯会（小松崎享会長・会員百五十人〈うち女性会員三十人〉）発足以来の念願であり、鋭意製作をすすめてきました大神輿が会員・関係者の皆さんの大きな努力と町当局をはじめ町民の皆さんのご援助により、このほど立派に完成し、去る10月12日（日）の吉日にその入魂式と披露式が盛大に行なわれました。

入魂式は午前10時から大洗神社で厳かに執り行なわれ、入魂神事のあと社前でミコシの〝初もみ〟を行ない、披露式は場所を役場前広場に移し、午後2時から開かれました。

式典は神輿の製作に総てをうちこまれた、宮大工・小野瀬正蔵(66)さん（大貫町六一八）・彫金師、川上源司(51)さん（大貫町六三七）等の表彰にはじまり、神輿披露に入いるとお揃いのハッピ・ハチマキ姿も凜凜しい八十名の担ぎ手に担がれた五三〇kg（一四一貫）の大神輿が金色に粲然と輝き、セイヤ・セイヤのかけ声も勇ましく百五十名の全会員が交替で約30分もの長時間もみ歩き、集まった町民にご披露しました。

この神輿を作られた方は二人とも大貫の方々で、文字どおり町民の手で作られた町の神輿と云うことで町民の皆さんも誇らしげに話し合っていました。

これで、「荒磯太鼓」に続いてまた一つ町の名物が生まれ、これからの町の発展とともに幾世代をも担ぎ続けられることになりましょう。

セイヤ　セイヤ

粋で壮んな大神輿のねり歩き

汗と涙でかちとった感動

小学生バスケットボール県交歓大会に出場して

県ミニバスケ連盟理事長
大貫小学校勤務　真家　護

「お願いします！」　試合前の活発な両軍挨拶のエールが、水戸市東町の県営スポーツセンター館内に響き渡った。主審の手からジャンプボールがトスされた瞬間、対待したセンターの身体がゴムまりのように高く舞い、ボールをたたいた。

小さなからだが
　ボールを追って
子どもたちは
　はしる
紺鉢巻のおかっぱが
　リング下にとびこんで
ランニングショットが
　リバウンドする
フォローアップの体が
　いっせいに跳んで
流れる汗と涙で
　目がかすみ
感動の血潮が
　子等の頬をそめる

本年のミニバスケ県交歓大会第三日（八月二十日）に大貫小バスケ部男女が出場。

「大会に備えて体調を整えておくんだと、うちの息子は気を配っているんですよ」とある母親の言で、子供の純な心に心をうたれたのは大会出場の数日前。

一学期の放課後から夏休みを利用して六年生のミニバスケ部員約四十名のちびっ子達は、県交歓大会という檜舞台出場という未知の体験に幼い胸をふくらませつつ、汗と根性の練習にひたすらうち込んで来たのだ。そして大会出場に際しては昨年の六年生同様の方針で、より教育的な体験をもくろんだ。即ち、ともすればすべてにカッコウよさに傾斜し勝ちな現代っ子の風潮に対抗して、古き良き時代の「質実剛健」を求めた。練習も大会も靴を「買わない」、小遣銭やおやつは「持たない」、父母から差し入れを「もらわない」、ユニホームは「あつらえない」等々。授業の体操服に校名と番号を自作して縫いつけさせ、はきなれたヅックをバスケシューズに代用、持参物はおむすびだけ。

また、本校がねらっている「勝敗にこだわらず、みんなが楽しく」を生かして、上手下手の区別なく全員がメンバーチェンジでゲームに出ることなど。

たしかに本年度の九日間の大会を通じて参加一六〇校がそれぞれ中学校顔負けの豪華なユニホーム、それも正選手と二軍との区別あり。ゲームには上手な子だけを出して大半の子はもっぱら応援のみ。何千円のバスケシューズ。買い喰い仕放題。試合中は監督の教師が血眼で子どもをどなりつけ等々。まさに「勝つための、勝たなくては」の有様。これらは小学校スポーツの行き過ぎだと眉をひそめたくなるチームが殆んど。私の見るところ大貫小は質実剛健の最たるものと自負して止まない。

ともあれ、大貫小の対戦相手は取手市・那珂郡・行方郡の代表的チームで、日頃から練習試合をみっちり積んでいる強豪。練習試合の経験なしで臨んだ大貫っ子は男女とも惜敗に終ったが、自作自筆の背番号を汗でグッショリにじませて、劣勢にもめげず、メンバーチェンジで全員がゲームに出場してタイムアウトのピストルが鳴るまで気力をふりしぼって走り投げまくった。時折、ドリブルシュート・ミドルシュートが決った瞬間、ベンチで待機する子等や、観覧席で総立ちの父母の歓声と拍手がどよめいて私の心を熱くし目をうるませてくれた。

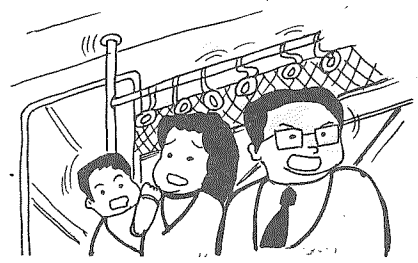
負惜みでなく言えるのは、大貫っ子たちは技では負けたが、「楽しくみんなで」「買わない・食べない・散らかさない」「礼儀と気力」の面では完全に圧勝した誇りと満足感で師弟共々味わった一日であった。

昨年の六年男生の母が「うちの子は県大会で汗でにじんだ背番号を今でも机の中から時々出して思い出をかみしめてるんですよ」と私に聞かせてくれた事があった。

本校でバスケ部を設けた理由は、子どもたちをひとりでも多く、放課後や長期休業中を健全な過し方に導き、おかしな遊びや、金と時間の無駄遣いをなくしていきたい。バスケ特有の変化に富んだ技術・ルール・スピードとチームプレーの面白さが現代っ子にぴったりで、バスケを通して友情を深め心身をきたえる一方策であり、全職員で指導に当っている。

大会に参加して得たものは大きい。質実剛健を地でいった感動。根性と気力の限界にまで走り回った感動。これらの感動が無形の糧として彼等の心に沈澱したことを信じ、同時に私達教師の心の琴線をふるわしてくれたことに感謝する。教育の一環として陰に陽にバスケ部を育てている本校の先生方に、そして時折訪れて共に汗を流して後輩を指導した南中バスケ部一年生諸君に深謝する。

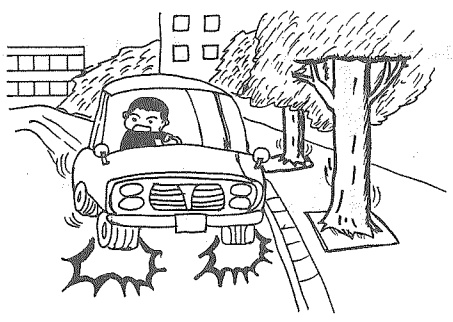
消防だより⑪　乗りものに乗っているとき地震になったら!!



—車を運転しているときは—

⊙左側に一時停車する
　絶対に車で逃げようとしないで、停車したまま様子をみる。ラジオの情報を聞き、警察官の指示に従う。

⊙急ブレーキ、急なハンドル操作はしない
　（高速道路では）
　前の車に注意しながら、冷静に左側に寄せて停車する。



—電車・バス・地下鉄に乗っているときは—

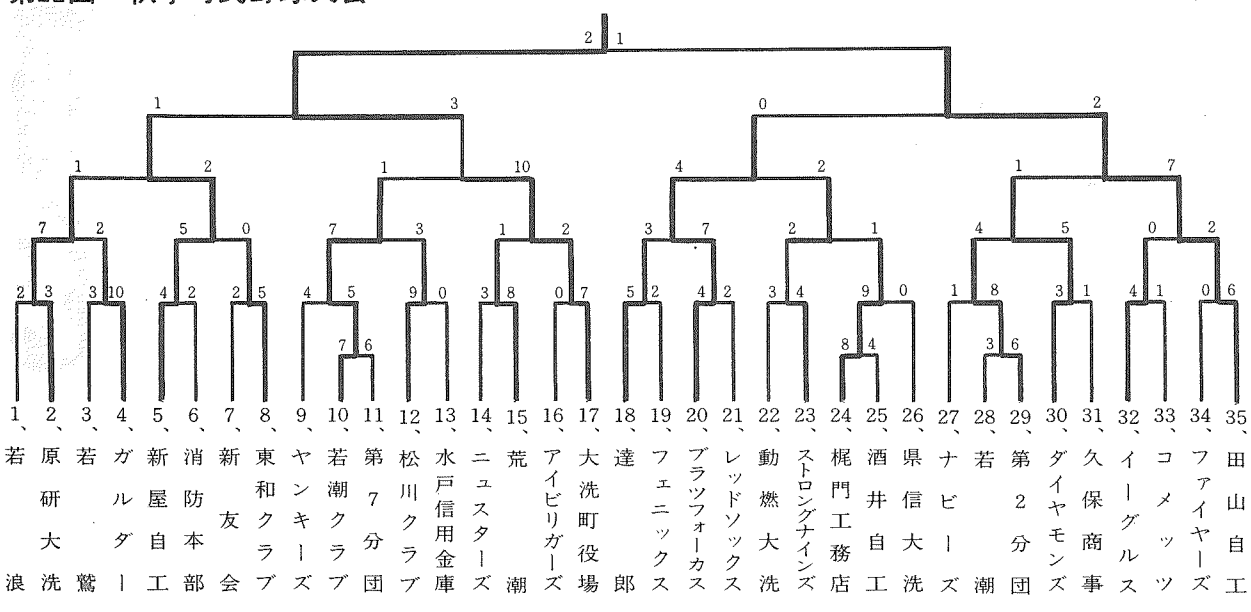
⊙停車しても、すぐに外に出ない
　鉄道機関は、大地震発生と同時に、電源を切ったり、信号を赤にしたりして、列車を止めるのが原則。でも、停車したからといって、あわてて外に飛び出すのは危険。

⊙乗務員からの情報を待つ。

⊙冷静に状況を観察する。
　車両というのは、特に耐震性が優れている。このことを知っていれば、冷静になれるはず。

⊙乗務員の指示に従う。

第22回　秋季町民野球大会



秋晴れの中で熱戦を展開

さわやかな秋空の下、去る9月7日から10月5日までの各日曜日を利用して、恒例の第22回大洗町民野球大会が総勢35チームの参加で繰り広げられました。

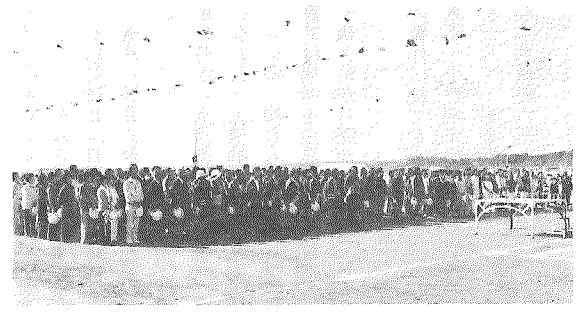
最終日の10月5日は、準決勝と決勝戦が行われ、その結果大洗町役場チームが優勝を飾りました。

試合結果は次表のとおりです。各チームのみなさん、ご苦労さまでした。

入賞及び個人賞は次のとおりです。

優　勝　大洗町役場
準優勝　田山自工
三　位　新屋自工
同　　ブラックホーカス
最高殊勲選手賞　田山　修（役場）
打撃賞　藤枝　建（役場）
敢闘賞　永山　文男（田山自工）

ニュース



▲ 開会式

▲ 開会のあいさつ竹内町長

▲ 紅白玉入れ（老人クラブ）

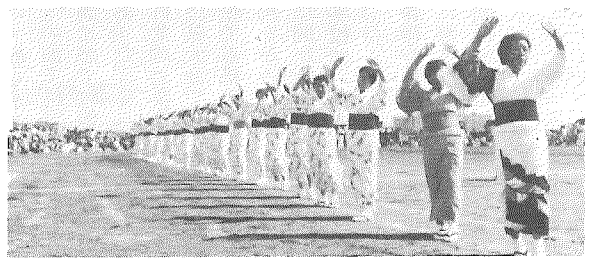
◀ カード合せ競走

◀ 子供会対抗リレー（表彰式）

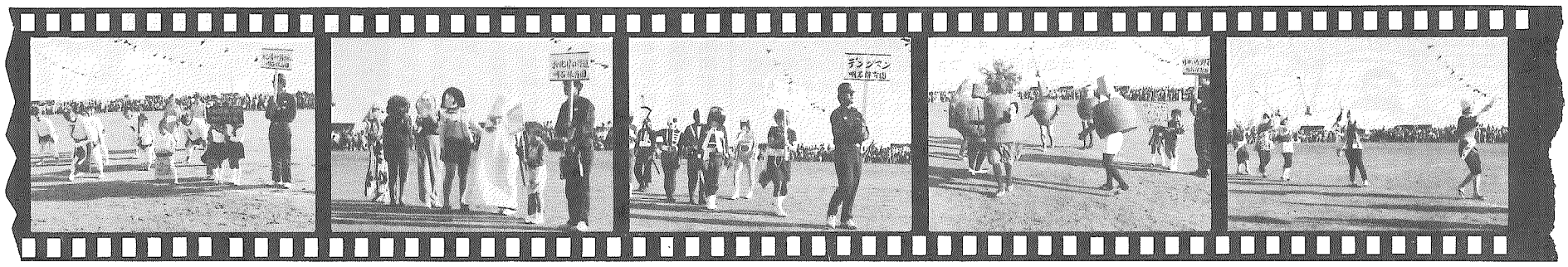
▼ おかあさんといっしょに

▶ 地区対抗綱引き

▶ 磯節おどり



▼ 秋場所勢揃い　▼ お化けの行進　▼ デンヂマン　▼ ゆかいな野菜　▼ どじょうすくい



大洗町のあゆみ

昭和二十九年
11月、磯浜町・大貫町合併―大洗町発足。

昭和三十年
7月、旭村の一部（夏海地区）を大洗町に編入。
8月、火葬場完成。

昭和三十一年
3月、海門橋着手。

昭和三十二年
2月、3漁協合併大洗町漁協新設。
8月、大島磯に300Wの目標燈建設。

昭和三十四年
7月、海門橋門通（有料）。
8月、海洋博物館設立。
10月、当町での放魚祭に皇太子殿下参列する。

昭和三十五年
4月、二中・三中が統合して南中学校として発足。
10月、国勢調査実施（人口二二、二九〇人）

昭和三十六年
7月、子供の家完成。
11月、大洗港起工式。

昭和三十八年
3月、大貫小学校校舎完成。
6月、日本原子力研究所誘致。
9月、簡易水道から全町水道化（3ヶ年計画で着手。

昭和三十九年
3月、第一中学校体育館完成。

昭和四十年
3月、祝町小学校校舎完成。
4月、大洗原子力研究所起工式。材料試験炉（JMTR）着工。
10月、国勢調査実施（人口二一、八一五人）

昭和四十一年
3月、漁民アパート（16戸）完成。

昭和四十二年
3月、大洗・旭・常澄環境衛生組合し尿処理場完成。
3月、鹿島線起工式（水戸～香取七〇、二km）。
3月、第一中学校防音校舎完成（40、41年度）。
4月、夏海バイパス開通。
8月、原研外周道路完成。
11月、動燃事業団誘致。

昭和四十三年
3月、かん水畜養センター完成。
3月、原子力大洗研究所に〝原子の火〟ともる。（材料試験炉（JMTR）臨界達成）
3月、磯浜小学校防音校舎完成（41、42年度）。
5月、大洗バイパス完成。
12月、大洗の都市計画街路と用途別地域指定。
12月、東北大学材料試験炉利用施設建設決定。

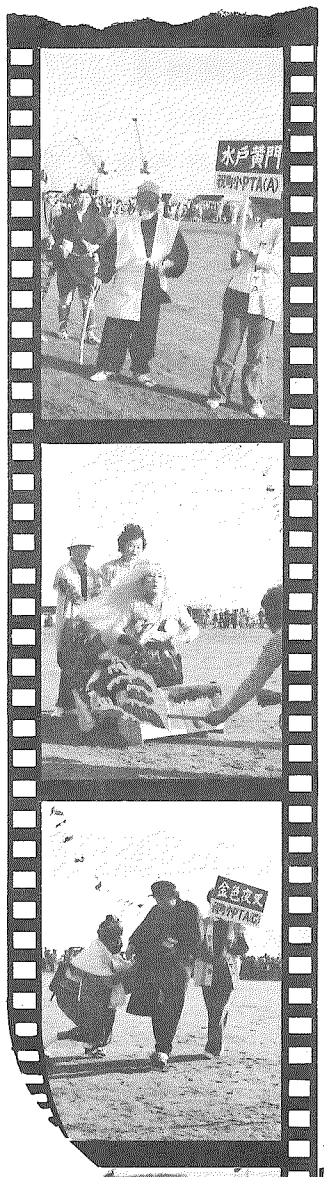
昭和四十四年

大洗町２５周年記念町民運動会

フォト

◀ゆりかごからはかばまで

◀荒磯会神興



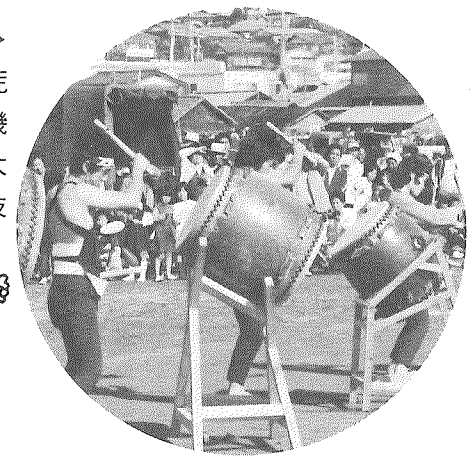
◀水戸黄門

◀人形ひめ

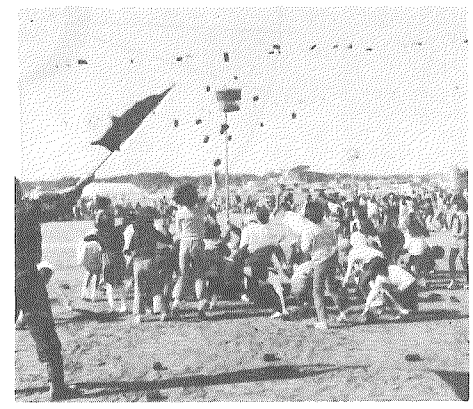
◀金色夜叉

▼消防分団対抗リレー

▶荒磯太鼓



▼紅白玉入れ（小学生）



▼ひげだんす　▼荒磯人生　▼一友会　▼ハワイアンフラダンス

昭和四十五年
- 2月、祝町小学校防音校舎完成（43年度）。
- 2月、大貫小学校防音校舎完成（42、43年度）。
- 11月、町営魚市場完成。

昭和四十五年
- 3月、夏海小学校防音校舎完成（43、44年度）。
- 7月、大洗子供の国（水族館・プール）完成。
- 10月、国勢調査実施（人口二一、六五四人）
- 10月、ごみ焼却炉（20ｔ）完成。
- 11月、大洗町役場庁舎建設着手。

昭和四十六年
- 3月、水戸・北鹿島間工事着工（町域延長距離六、八五〇ｍ）。
- 11月、大洗町役場庁舎完成。
- 11月、町営冷凍冷蔵庫完成。

昭和四十七年
- 2月、日本核燃料開発株式会社（ＮＦＤ）建設。
- 3月、町立祝町幼稚園完成。
- 4月、大貫バイパス開通。

昭和四十八年
- 1月、町営墓地（稲荷山）完成。
- 3月、町立第一保育所防音改築工事完成。
- 8月、老人憩の家完成。
- 12月、汐見ヶ丘住宅（47、48年）26戸完成。

昭和四十九年
- 4月、茨城県立大洗高等学校創立。

昭和五十年
- 10月、国勢調査実施（人口二一、六六六人）

昭和五十一年
- 3月、大洗町保健センター完成。
- 3月、大洗町農業会館完成。
- 3月、那珂湊保健所大洗分室廃止。
- 6月、ごみ焼却炉（20ｔ）完成。

昭和五十二年
- 4月、大洗町消防署発足。
- 4月、高速増殖炉「常陽」臨界に達する。

昭和五十三年
- 1月、町営墓地（鮫口）完成。
- 3月、消防庁舎完成。
- 3月、夏海・祝町両小学校屋内運動場完成。

昭和五十四年
- 2月、大貫小学校屋内運動場完成。
- 3月、海門橋無料化となる。
- 4月、老人憩の家無料化。
- 5月、大洗港重要港湾に指定される。
- 7月、大洗町サイクリングターミナル完成。
- 11月、町営火葬場完成。

昭和五十五年
- 3月、役場昼休み業務の開始。
- 3月、第一回磯節全国大会開かれる。
- 3月、町立第一中学校柔剣道場完成。
- 3月、町立第一中学校屋外運動場夜間照明施設完成。
- 4月、水戸警察署大洗警察官部派出所庁舎完成。

昭和54年度一般・特別会計決算

健全財政に努力

一般会計をはじめ、七つの特別会計を含む昭和五十四年度の決算が、町議会九月定例会で原案どおり認定されました。

一般会計決算のあらまし

昭和五十四年度の地方財政環境については、引き続き厳しい財政環境でありましたが、歳入総額三、五〇八、五九五千円、歳出総額三、三七九、七九三千円、歳入歳出差引一二八、八〇二千円、翌年度へ繰越すべき財源五四七千円で、実質収支一二八、二五五千円の黒字を出すことが出来たため翌年度以降の財政運営を配慮し、財政調整基金に一三六、一三六千円の積立を行ないました。

歳入の財源構成をみると依存財源が、一、三七四、六三〇千円で全体の三九・二%（前年度三七・〇%）自主財源が二、一三三、九六五千円で六〇・八%（前年度六三・〇%）となっている。

依存財源の主なるものは、国庫支出金二九五、二九一千円八・四%、地方交付税三九八、八六五千円一一・四%、地方債四二九、一〇〇千円一二・二%、県支出金一九六、〇八三千円五・六%、その他五五、二九一千円一・六%であり、前年度に比較すると一八六、七五七千円で一五・七%の増となっている。

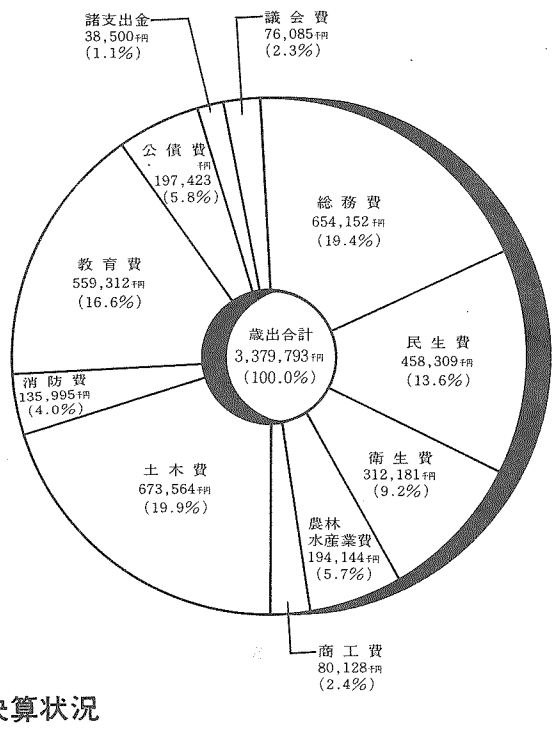
また、自主財源については、町税収入が一、三三一、八〇四千円で歳入総額の三八・〇%を占めており、その他八〇二、一六一千円二三・九%と前年度に比較して一〇七、九四一千円で五・三%の増となっている。

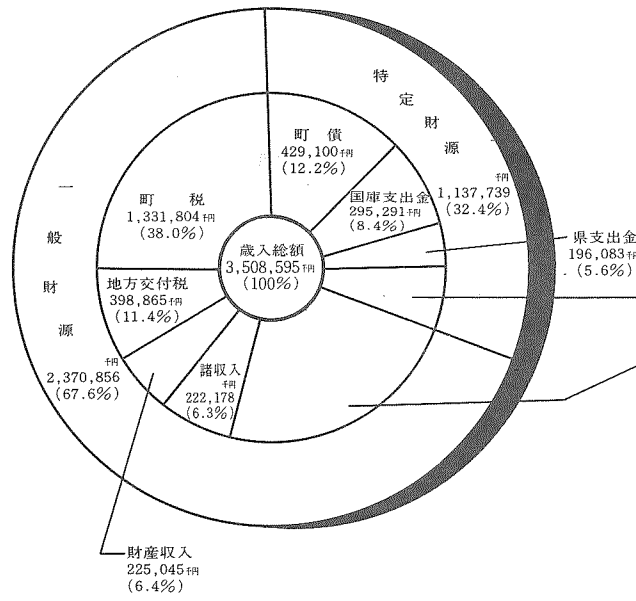
歳出を性質別に分析してみると、まず投資的経費が一、一二〇、八八九千円で歳出総額の三三・二%（前年度三二・七%）を占め前年度に比較して一一一、六四九千円で一一・一%の増である。さらに前年度と比較して伸びを示したものは、公債費一九七、二四六千円五・八%（前年度五・一%）伸び率二四・〇%、扶助費三二八、九九一千円六・八%（前年度六・七%）伸び率一〇・七%等となっている。義務的経費（人件費、扶助費、公債費）については一、六二九、七七〇千円と歳出総額の四八・二%（前年度四七・九%）前年度に比較して一五三、〇四二千円一〇・四%の増を示している。また一般財源の充当状況をみると一、三四二、三五〇千円で、一般財源総額の五九・九%（前年度六四・五%）を占め前年度に比較して一一三、一〇四千円で九・二%の伸びを示している。

基　金

（昭和54年度末）

- ○大洗町財政調整基金
  （現　金）390.011千円
- ○大洗町土地開発基金
  （不動産）土地 1,357㎡
  （現　金）　8,771千円
- ○大洗町運動公園建設基金　4,546千円
- ○大洗町国民年金印紙購入基金　2,500千円
- ○大洗町非常勤済防団員に係る公務災害補償金及び退職報償金支給基金（現金）　1,000千円
- ○大洗町無線放送更新基金　7,649千円





	千円	%
使用料及び手数料	82,155	(2.3)
分担金及び負担金	82,049	(2.3)
繰越金	31,017	(0.9)
諸収入	13,230	(0.4)
財産収入	8,542	(0.3)
寄附金	272	

	千円	%
繰越金	67,542	(1.9)
地方譲与税	30,733	(0.9)
娯楽施設利用税交付金	26,432	(0.8)
使用料及び手数料	21,591	(0.6)
繰入金	18,958	(0.5)
自動車取得税交付金	18,178	(0.5)
交通安全対策特別交付金	6,385	(0.2)
寄附金	3,150	(0.1)

特別会計の決算状況

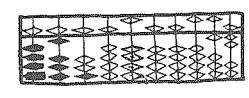
（単位：千円）

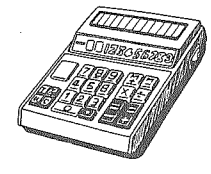
会計名		最終予算額	決算額 歳入(A) 金額	歳入(A) 収入率	歳出(B) 金額	歳出(B) 執行率	差引 (A)－(B)	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支
国民健康保険特別会計		1,021,028	988,160	96.8	912,868	89.4	75,292		75,292
水道事業会計	収益的	255,451	252,793	98.6	230,275	89.8	22,518		22,518
	資本的	（歳入）112,675 （歳出）167,340	89,236	37.1	131,080	45.2	△41,844		△41,844
地方卸売市場冷凍冷蔵事業会計	収益的	（収入）50,978 （支出）45,485	40,791	80.0	42,157	92.7	△ 1.366,		△ 1,366
	資本的	（支出）5,493			5,492	99.9	△ 5,492		△ 5,492
農業共済事業会計		22,723	20,971	92.3	12,734	56.0	8,237		8,237
桜道土地区画整理事業会計		387,283	389,728	100.6	251,116	64.8	138,612		138,612
公平委員会		9,552	9,631	100.8	9,128	95.6	503		503
サイクリングターミナル特別会計		19,493	19,304	99.0	19,304	99.0	0		0

一般会計の決算状況

（単位：千円）

区分	最終予算額	決算額
歳入	3,643,706	3,508,595
歳出	3,643,706	3,379,793
歳入歳出差引	0	128,802
翌年度へ繰越すべき財源		547
実質収支		128,255





文化の日によせて

地方文化を世界中の人々に

作家　小松左京

文化――というと、戦後〝文化なべ〟とか〝文化住宅〟という言葉が使われたことがあります。この場合の文化は、物質的な面での生活の進歩を指しているんですね。

確かに、こういった生活の合理化・向上も文化の一面には違いありませんが、現在では、文化というと精神的な満足感や心の豊かさをあたえてくれるようなものを意味するようになってきていると思います。

人間は、物やお金だけでは生きられない。精神的な充足感があってこそ豊かな人生を送ることができる――ここが人間のいいところで、だからこそ文化が必要なんですね。

そういう意味では、いま日本は〝文化指向の時代〟を歩み始めているといえるでしょう。

また、別の見方をすれば、文化というのは、歴史の中で育まれてきた、それぞれの社会の伝統的なルール――社会がうまく機能していくために欠かせないものといえます。

ですから、文化には〝これが文化だ〟というような絶対的なものはないのであり、いろいろなその地方独自の文化があっていいのです。それは日本国内だけでなく、世界各地についても同様です。

いま〝地方の時代〟という言葉が盛んに使われていますが、文化について言えば、地方それぞれの文化を大切にしようということだと思います。

しかし、祭りにしろ、伝統芸能や工芸品にしろ、地方文化は細々と受け継がれているものが多いですね。このままにしておくと、あと三代、四代もすれば滅びてしまうかもしれません。そうなっては、わたしたち日本人にとってはもちろん、世界中の人々にとっても、かけがえのないものを失うことになります。

なぜなら、地方文化はその地方の人だけのものではないからです。ずっと昔からの、いわば歴史の預りもの、それが文化であって、世界中の人々のためにあるということですね。

文化は、人間の心がその土地の風土・歴史と相まって生まれたもので、その地方独自の〝顔〟を持つのはむしろ当然です。

ですから、「この祭りはこの地方だけの奇習で……」などと卑下したり、閉鎖的になったりする必要は毛頭ありません。わたしたちの郷土文化も、実は世界の文化の一端を担っているのだという気持ちを大切にしたいものです。

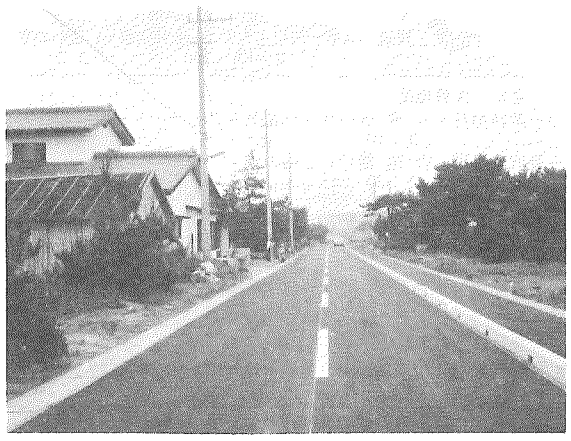
これからは、文化の〝質〟が問われる時代です。

自分たちの文化を高めるためには、ただ伝統を継承するだけでなく、異った文化との交流が必要です。

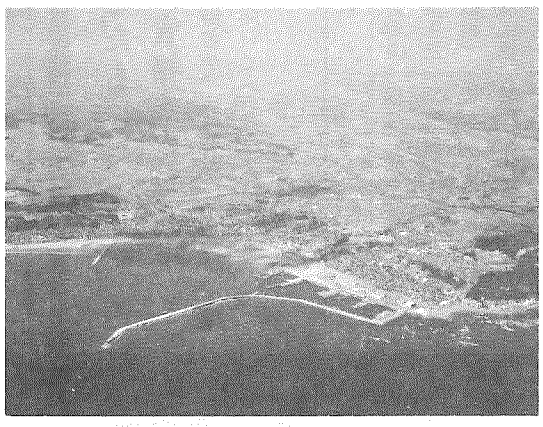
そのためには、郷土の文化を外に向けて育てるとともに、よその地方文化、ひいては世界の文化に数多く接することが大切です。この〝内から外へ、外から内へ〟の交流がうまくいってこそ、地方文化はその質を高めていくことができるのです。

その時こそ、本当の〝地方の時代〟がやってくると思います。（談）

写真でみる財政投資

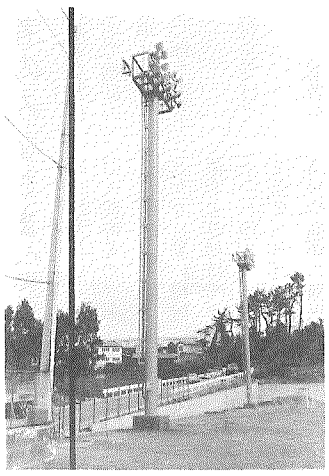


▲ 町道整備事業



▲ 大洗港建設事業

▲ 交通安全施設建設事業



▲ 屋外運動夜間
照明施設事業

簡易保険積立金還元融資事業

① 松ヶ丘町営住宅建設事業
② 前原町営住宅建設事業
③ 和銅地区児童公園
④ 一中柔剣道場建設事業

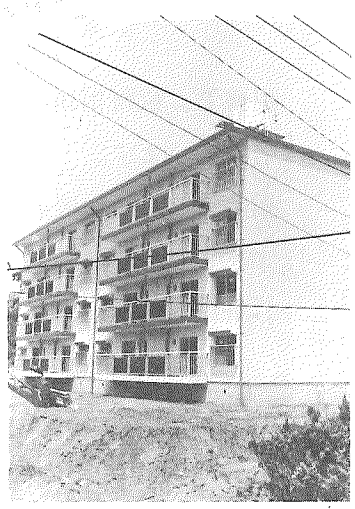
▼ 町営火葬場建設事業

▲ 堀割埋立土地造成事業

年金積立金還元融資事業

① 老人居室整備資金貸付事業
② 障害者住宅整備資金貸付事業
③ 火葬場建設事業
④ 一中運動場夜間照明施設整備事業

▼ 前原町営住宅建設事業



主な建設事業（一般会計）

○交通安全施設建設事業（自転車歩行者道）三三、四五〇千円
特定交通安全施設工事（自転車・歩行者道）
両側延長　五二二・一五m
○広報無線放送施設設置事業　一二、三八七千円
子局　六局
○町営火葬場建設事業　七二、八〇〇千円
昭和五三～五四年度継続事業
炉　二基　動物炉　一基
○農業排水路整備事業　二〇、二六三千円
八反田地区用水路外二件
○農道整備事業　二九、五五〇千円
広浦地区外四件農道舗装工事
○磯浜漁港沈廃船処理事業　一九、八六一千円
沈廃船　七三隻　七八一・六t
○町道整備事業　二〇二、六九六千円
町道及び排水溝整備事業
○大洗港建設事業　七〇、六八〇千円
大洗港建設事業（国補）負担金
○児童公園建設事業（和銅地区）　八、〇〇〇千円
和銅地区児童公園
面積　二、二〇〇㎡
○堀割埋立土地造成事業　七四、二〇〇千円
廃船処理工事　三四三、八t
土地造成　七、八〇〇㎡
県事業負担金三、九〇〇千円（水産振興費）含む
○松ヶ丘町営住宅建設事業　九、八二三千円
繰越明許費　一〇、七八〇千円
集会所新築（鉄筋コンクリート平家建）一〇〇㎡
道路舗装工事、幼児遊園工事
○前原町営住宅建設事業　二四、七三二千円
繰越明許費　一三二、一五〇千円
第二種中層耐火四階建一棟一六戸　延一、〇五四㎡
汚水処理施設、屋外給水施設
○桜道土地区画整理事業（国補）　九、〇〇〇千円
○屋外運動場夜間照明施設工事　三七、一七〇千円
夜間照明　六基
○一中柔剣道場建設工事　六二、二三六千円
鉄骨造平家建　六五九・三九㎡

◎私たちと国民年金

国民年金には、現在全国で二七八〇万人（大洗町では六三九七人）が加入し、五六九万人（大洗町では一七二六人）が年金を受けています。この国民年金に加入する人は、農林漁業、商工業やサービス業などの自営業者、五人未満の事業所の従業員とそれらの家族です。厚生年金保険や共済組合などの被用者年金制度に加入していないときは、二〇才から六〇才までの間、必ず加入しなければなりません。

また、サラリーマンの奥さんなどは、希望して任意に加入することができます。

国民年金には老齢年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の七種類があります。

これらの年金は、物価の上昇に合わせてスライドされておりますので、将来年金額が減るということはありません。

国民年金の保険料は、定額で一ヶ月三、七七〇円です。もし将来年金をいただく時に少しでも年金を多くもらいたいと思う方は、付加保険料として一ヶ月四〇〇円を定額分と合わせて納めることが出来ます。又、保険料を納めるのが困難な方には免除の方法があります。

国民年金は、皆さんのためのものです。皆さんの力でさらに大きく育てましょう。

国民年金についてのくわしいことは、役場年金係にお問い合わせください。

◎こんなに増えた国民年金の受給者

国民年金は、制度が出来てから二十年たった現在、受給者は年々増加の傾向にあります。

今、大洗町では昭和五十五年三月現在で受給者は拠出年金で一七二六人、福祉年金で一〇四七人、合わせて二七七三人になりました。

また、受給者の方に支払われた年金の総額は昭和五十五年三月現在で拠出年金が四億二二六三万円、福祉年金が一億三七五八万円、合わせて六億六〇二一万円にのぼります。今後、ますます受給者及び年金の支払額が増えてきております。

◎国民年金の保険料は忘れずに納めましょう

国民年金の障害年金は、国民年金に加入している間に、病気やケガをして、国が定めた障害の状態になったときに、障害年金が受けられることになっております。

しかし、障害年金を受けるのには、保険料を完納しているか、または、免除されているかしていなければなりません。

保険料を滞納していたために、事故にあって障害になっても、障害年金が受けられないということがあります。

このようなことがないよう、もう一度、保険料の納め忘れがあるかないか確めましょう。

もし納めていないときは、今すぐに納めましょう。

老人いこいの家利用者の送迎 福祉バス運行日程

きたる、11月1日から「福祉バス」による老人憩の家利用者の送迎を次のとおり行います。憩の家の利用は、お年寄りに限りませんから、町民のみなさんのご活用をお願いします。

①第1水曜日　主に、夏海地区
大谷川～松川公民館～農協会館～神山～大貫橋～あぐり旅館～
9：00　9：10　9：20
サンワ電気～アイマート～新道バス停～茨交ストアー～大和旅館～いこいの家
9：30　9：40

②第2水曜日　主に、大貫地区
前原バス停～諏訪神社～万清前～サンワ電気～アイマート～常陽銀行～
9：00　9：10　9：20
水戸信用～金沢駐車場～吉田屋～いこいの家
9：30

③第3水曜日　主に、磯浜地区
大和旅館～茨交ストアー～常陽銀行～水戸信用～金沢駐車場～吉田屋～
9：00　9：10
古関屋～角沼～惣五郎～いこいの家
9：20　9：25

④第4水曜日　主に、祝町地区
飛田商店～磯浜郵便局～松ヶ丘住宅～墓地入口～明治記念館～いこいの家
9：00　9：10

※送りは、いずれも午後3時頃、憩の家発の予定です。

通信講座で、あなたも、技能士の資格を!!

職業訓練大学校では、技能労働者が、通信教育によって、専門的知識を修得できる講座を開いています。その概要は次のとおりです。

級別	職種	受講料	受講資格	訓練期間	申込み受付	特典
一級	○機械加工科（旋盤及びフライス盤加工法のうち一科目選択） ○仕上げ科（治工具及び機械組立仕上げ法のうち一科目選択 ○板金科（建築及び工場板金加工法のうち一科目選択） ○配管料（建築配管旋工法のみ）	八、〇〇〇円	右記、各級各科の技能検定受験有資格者、または一年後にその資格が得られる方	標準一ヵ年	随時	各級の技能検定学科試験免除（国家検定）
二級	機械、仕上げ、機械製図、回転電機組立て、板金、配管、建築、塗装、広告美術、家具木工、洋服、ブロック建築、タイル張り、とび、左官、建具、時計修理など　二十九科	六、〇〇〇円				

なお、詳しくは左記へどうぞ
茨城総合高等職業訓練校
水戸市水府町八六四の四　☎〇二九二(24)六六〇六

家内労働者のみなさまへ

製造加工業・販売業者などから委託を受けて、自宅で物品の製造・加工などに従事している方は、次の点に気をつけて下さい。

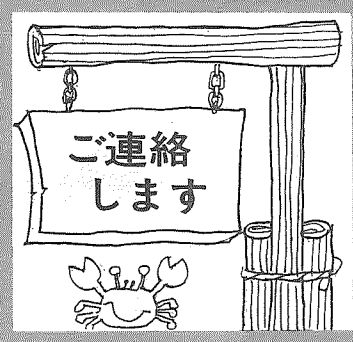
○家内労働手帳の交付を受けていますか。
仕事を始める時には委託業者から、家内労働手帳を交付してもらい、工賃の単価、納期、支払日などの事項を記入してもらわなければなりません。

○工賃の支払は、現金で全額を、一ヶ月以内に受けとれることになっています。（本人の同意があれば振込みでも可）

○仕事による災害を防止しましょう。
物をはり合せるノリの中には、引火性のものがあります。火事に注意しましょう。プレス機などケガし易い機械には、安全装置をとり付けて下さい。

※いわゆる「インチキ内職」に注意!!　内職と称し、多額の受講料や高額の機械を売りつけたり、雑誌等で高収入が得られると宣伝しているものの中には、指導料をとる事が目的の、いわゆる「インチキ内職」の被害にあう例があります。家内労働を始める前には、良く注意して下さい。

家内労働についてのご相談は、茨城県労働基準局
☎　〇二九二(24)六二一一へ。



税務署、税務相談室では、みなさんの税金の相談に応じています。

相談は無料で、匿名でも結構です。もちろん秘密は守ります。

お気軽にご利用ください。

TEL　0292(31)4211

気がるに相談を!!

（すべて秘密に扱っています）

人権法務　相談所開設（無料）

一、とき　十一月十二日（水）
午前十時～午後三時
一、ところ　大洗町役場
＊人権を侵害されている問題
＊金銭貸借、借地、借家、境界、農地問題
＊相続や扶養、結婚の法律問題
＊その他・裁判費用（民事）の援助問題

節税と財産づくり

事業主の退職金制度
小規模企業共済

小規模企業共済制度は、いわば国でつくられた事業主の退職金制度です。月々、掛金を払い込んでいただくことによって、事業をやめたり、役員を退職したときなどの場合に法律で定められた共済金が支払われます。

制度の特色

1．掛金は全額所得控除
2．共済金は退職所得扱い
3．加入者（一定の資格者）には、即日貸付制度

●加入できる方
常時使用する従業員が20人（商業とサービス業では5人）以下の個人事業主および会社の役員の方です。なお、一定規模以下の企業組合・協業組合の役員の方も加入できます。

●お問い合わせは
この制度のくわしいことは、最寄りの商工会および金融機関へお問い合わせください。

あなたの世帯で

○出生・死亡（死亡は七日以内）
○転入・転出・住所の移動
○社会保険に加入、脱退などがあったときは

十四日以内に届出をお忘れなく！

保健センターだより

月／日	事業名	対象者	受付時間
11／4	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	1時00分～3時00分
11／6	乳児健診	生後2ヵ月～3ヵ月の者 生後7ヵ月～8ヵ月の者	1時15分～2時15分
11／8	二才児相談	満2才の誕生日に達した者	9時30分～11時30分
11／10	母子相談	妊婦	9時30分～3時00分
11／11	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時30分～3時00分
11／12	成人病クリニック	成人病患者及び一般住民	1時15分～2時15分
11／13	二才児相談	満2才の誕生日に達した者	9時30分～3時00分
11／14	百日咳・ジフテリア・破傷風三種混合	生後24ヵ月～48ヵ月未満の者	1時15分～2時15分
11／18	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時30分～2時15分
11／20	一才六ヵ月健診	満一才六ヵ月の誕生日に達した者	1時15分～2時15分
11／25	機能回復訓練	障害者で機能回復訓練を必要とする者	9時30分～3時00分

愛の血液で助け合い

献血実施のお知らせ

期日　11月20日（木曜日）
場所　大洗町曲松公民館
時間　午前の部　9時30分～12時30分
　　午後の部　1時30分～3時30分
主催　大洗ライオンズ・クラブ
後援　大洗町

国勢調査ご協力ありがとうございました

過日、おこなわれました国勢調査が、町民みなさまの御協力をいただき無事終了いたしました。

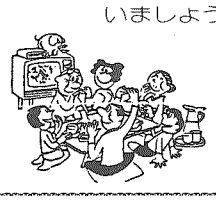
お蔭を持ちまして期間内に調査が完了し、県庁統計課に提出できました。

調査票は、国において電算機により集計され12月末には調査結果が出る予定です。

国勢調査の調査結果は、今后国及び市町村行政のあらゆる分野で必要とする極めて基本的かつ重要な基礎資料として巾広く行政推進に利用されるものと考えております。

今后共各種統計調査についても御協力下さる様よろしくお願い致します。

町民のみなさん御協力ありがとうございました。

大洗町長　竹内　宏

家庭の日
毎月第3日曜
家族みんなで話しあいましょう。